

※追加報告・

「成果報告会」で展示

1月19日、仙台市市民センターが取り組んでいる市民参画型事業の報告会がありました。パネル展示をしました。

幸町市民センターの「杵江の森・魅力発信プロジェクト」が、注目です。

2月6日、  
青陵の森の、冬の様子



↑\*1 ヤブツバキに寄り添う工藤さん。↓\*2 冬の常緑樹は皆、ダラリ



今日は、今年一番の寒さ、時おり小雪が降る中、今年始めて青陵の森歩きです。本日は常緑樹調査としゃれます。広場北から入るルートです。すぐ右手にヤブツバキがひつ

↓\*3 滝のツララ、風情ある



↑\*4 カタクリは、まだまだ

そり咲いておりました。早速にミスター工藤が分け入り撮った一枚です(\*1)。

常緑樹も生きるのに必死、葉を「だらり」とさせ不凍対策をしておりました。アオキ、カクレミノ、ヤツデ、スイカズラなど皆だらりです(\*2)。

ただアケビの仲間ムベはシヤキツとしていたのは私には新発見でした。

後半は広場南から滝に向かいました。途中あった小道側のシュンランの葉を分けて観察すると既に花の準備がされておりました。驚くなかれ、「青陵の滝」には左側の石の割れ目からしみ出た水が作った大き

な「ツララ」(\*3)ができておりました。

昨年秋に整備したカタクリ畑に行き、地面を観察しましたがまだ「芽」は出ておりませんでした(\*4)。花咲く4月が楽しみです。

近くの市民の方も案内して春を楽しみたいと思いながら帰りを急ぎました。(木村・記)

2月6日、  
宇那禰神社の歴史

同日に、市民センター・伊藤さんの紹介で、大沢市民センター主催の「地域の達人に学ぶ」講座に参加しました。

宇那禰神社の宮司・宮崎満明氏から、お話がありました。

宇那禰神社は、室町期に再興・創建された国分郷の古社のひとつ。元国分荘郷六の地であり、慶長十四年(1609)に、現在地に遷座したと伝えられます。

本堂は素木造、一間社流造、柿葺で、覆屋(雨屋)が掛けられています。

講話の後、平家琵琶伝承者・石垣定雄氏の平曲の演奏もありました。(大沼・記)

↓平家琵琶の演奏



↑軽妙な語り口で、宇那禰神社の貴重な歴史を語った宮崎氏

2020年3・4月の活動

3/5(木)

「芋沢街道を歩くⅢ」

- ◆大石原から活牛寺へ
- 集合 10:00 ケーズデンキ前
- 会員のみ参加

3/19(木)

「青陵の森・春を感じる」

- ◆春の森を楽しみます
- 集合 10:00 青陵中等教育学校
- 会員のみ参加

4/10(金)

「春の青陵の森・カタクリを探します！」

- ◆カタクリを探しましょう
- 集合 10:00 青陵中等教育学校
- 一般参加 (定員 10名)

(※2月20日の「青陵の森・散策」の報告は、次号で)